

国宝 かなざわぶんこもんじょ 金沢文庫文書データベースが全面リニューアル データベースが使いやすくなりました

神奈川県立金沢文庫では、国宝「金沢文庫文書」(4,149点)のデジタルアーカイブ化に取り組み、本データベースを令和2年3月より Web 公開しています。このたび東京大学史料編纂所との連携事業の一環として、より使いやすくなるよう、全面リニューアルを行いましたので、是非ご活用ください。

1 リニューアルの概要

- (1) 公開データの拡充(748点→1,024点※)
※ 今後、公開点数を増やしていきます。
- (2) 検索機能の向上や検索結果画面の表示方法を改善
- (3) スマートフォンやタブレットでの閲覧環境を改善
- (4) 東京大学史料編纂所データベース及び JDcat(人文学・社会科学総合データカタログ)との連携
- (5) デジタルアーカイブの国際的な規格である IIIF(トリプルアイエフ)への対応

2 本データベースのURL等

- ・URL <https://kanazawabunko-db.pen-kanagawa.ed.jp/>
- ・本公開開始日 令和4年6月1日(水曜日)

3 リニューアルにかかる協力機関等

本事業は、次の各機関等の協力を得ています。

- 協力 しんごんりつしゅうべっかくほんざんしょうみょうじ 真言律宗別格本山称名寺 (以下、五十音順)

東京大学史料編纂所

日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」(研究代表:西田友広氏)

日本学術振興会 文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム

【参考】金沢文庫文書及び本データベースの概要

(1)「金沢文庫文書」

「金沢文庫文書」(4, 149点)は、平成 28 年(2016 年)に「^{しょうみやうじしやうぎやう}称名寺聖教」(16,692 点)とともに国宝に指定された、称名寺(横浜市金沢区)が所蔵する史料群です。昭和5年(1930 年)より県立金沢文庫で整理、解読が始められ、現在では、史料が少なく研究が困難であった日本中世の政治、経済、文化、対外関係などを明らかにするうえで貴重な古文書群として知られています。

(2)本データベースの概要

国宝「金沢文庫文書」の詳細情報やデジタル画像を公開しています。また、人名や地名を含む、全文フルテキスト検索や年月日検索の機能を搭載しています。

【国宝 金沢文庫文書データベース 画面表示例】



※取材については随時受け付けますので、問合せ先までご連絡ください(休館日を除く)。

問合せ先

神奈川県立金沢文庫

副文庫長 高德 電話 045-701-9069(内線 102)

学芸課長 向坂(むこうざか) 電話 045-701-9069(内線 103)